

東松山市・岩鼻運動公園における放射性物質(セシウム)汚染土発見の経緯と現状

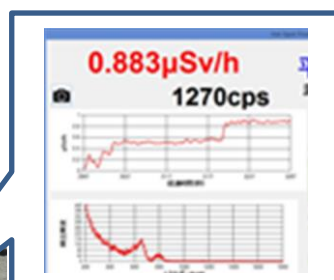
【経緯】

「311 市民ネット深谷という市民グループ(<http://fukaya311.jimdo.com/>)」で2013年8月より実施している「HSF(ホットスポットファインダー)放射能見える化計画」で、比企地域で特に子供たちが集まる場所の放射能測定をしてくださっており、すでに深谷、熊谷は終了(冊子になっています)。現在、東松山・滑川などを実施してくださっており、東松山は「子ども未来東松山(<http://mamorumatsuyama.blog.fc2.com/>)」より「五領町近隣公園」と「岩鼻運動公園」をお願いし、加えて「国営武蔵丘陵森林公園」と「埼玉県子ども自然動物公園」の測定を実施していただくことになりました。

【HSF(ホットスポットファインダー)とは?】



この黄色のバッグの中に高感度の《放射能測定器》(γ線測定)が入っており、GPS機能付きのPCと連動。1秒ごとの空間線量を記録しマップ化



GPS連動型空間線量率自動記録システム(Hot Spot Finder)は1秒毎に測定された空間線量率とGPSの位置情報が連動して自動的に保存されますので放射線マップを容易に作成できるシステム。

(ポニー工業 HP より抜粋 <http://www.ponyindustry.co.jp/product.html?pid=133>)

【岩鼻運動公園のホットスポットを発見】

日時:平成 26 年 7 月 3 日(木) 14:38 発見

※HSF での計測で、地上 50 センチで 0.883 μ sv/h を計測

確認のため、ほかの放射線計測機(HORIBA)を地面の上に直置きして計測してみると 1.357 μ sv/h

同日 15:10 に市役所危機管理課に通報

15:30 東松山市から公園の管理について指定管理を受けている「公益財団法人 文化まちづくり公社」より 3 名の方が臨場

※ちなみに、五領町近隣公園(巻末にレポート添付)も岩鼻運動公園も、東松山市内の平均空間線量と変わりありません。(0.03~0.05 μ sv/h)。7月16日に岩鼻運動公園の駐車場脇で0.23 μ sv/h 前後の箇所を発見しましたが、市に通報。即日、除染して下さっています。ここは窪地になっており、雨水や土壌がたまってしまったためのホットスポットでした。



【7月3日発見の《不法投棄的》現場について】



1.357 μ sv/h

現場 1
明らかにほかのところと土壌の色や落ち葉の様子が違うのがわかる

現場 2
こちらはほかの場所と区別がつかない



このあと、文化まちづくり公社の測定器で計測し 1.515 μ sv/h

●除染

・除染作業実施

平成26年7月3日 18:30 ~ 19:10

平成26年7月4日 9:30 ~ 15:50

・除染方法

東松山市放射性物質除染方針に基づき除染実施

放射線量の高い土をビニール袋に入れました。

岩鼻運動公園内の雑木林の散策路から離れた場所に穴を掘りました。

穴の中に遮水シートを敷き、その上にビニール袋に入った汚染土を置きました。

汚染土を遮水シートで覆った上で、上から1m程覆土を行いました。

埋立てた汚染土の量は約2tです。

(東松山市 HP より転載)

http://www.city.higashimatsuyama.lg.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/23/260707_iwahana_hosyano.pdf



除染作業の様子

除染後は地上 50 cm で
0.1 μ sv/h 前後

汚染土を仮置き場に埋めた後



仮置き場の線量は地上 50 cm で 0.04 μ sv/h
(岩鼻の平均値と同じ)前後



【発見後】

●子ども未来東松山

・東京新聞、朝日新聞、NHK に通報 → 東京新聞は翌日に現地にて取材、他紙も翌々日掲載

・東松山警察に通報(被害者は市民および東松山市である)

●東松山市環境産業部 みどり公園課

・新聞等に掲載され、1週間ほどは問い合わせが数多くあったようです。

市内全部の公園の測定を実施(7月16日~17日)

→ ただし、1つの公園で2か所ぐらいか・・・?

HSF の見積りはとってくれたようですが、その稟議がどうなっているかは不明

「仮置き場」の後は?このまま放射性廃棄物を公園に埋めておくの?

→国の除染地域に指定されていないため、市で対応せよ、とのこと。

→これまで放射性廃棄物の処理はどうしていたのだろうか?(薪ストーブの灰など)

・放射性物質が含まれているが、土は自然のものなので「不法投棄」にはあたらない。しかし、物が物なので東松山警察生活安全課の捜査担当が、引き続き捜査中だそうです。

もともと、7月16日に発見したような、いわゆる「ホットスポット」(放射能が雨などによって集まり、溜まってしまう場所)を探し、どちらかという「無かったね、安心だね」という内容になるであろうと考えていたところ、想定外のこのような「不法投棄的」な事件を発見してしまいました。

しかし、このHSFがなければ、この高い放射線はずっと見過ごされて来たはずです。

測り、知ることの大切さを改めて感じるとともに、終わりの見えない放射能との戦い(?)を痛感。

こういうこともあり得るとい警鐘はならせたのではないかと思います。

しかし、まだまだ課題が残っています。

市民の声を市に伝え、子どもたちが安心して学び、遊べる場所にせねばなりません。



東京新聞 平成 26 年 7 月 5 日朝刊



ニュース詳細



公園に放射性物質の汚染土か

07月04日 17時40分

埼玉県東松山市の公園の雑木林で、放射性物質に汚染されたとみられる土が見つかり、公園の管理団体が土を取り除きました。

市によりますと、以前、人の手で持ち込まれた可能性があるということです。

東松山市によりますと、3日午後、市内の岩鼻運動公園で、雑木林の2カ所で、放射線量が周辺より高い場所が確認されました。

それぞれ1～2平方メートルの範囲で、地表面で測定すると、高い方で1時間あたり、1.515マイクロシーベルトだったということです。

落ち葉を取り除くと、周りとは異なる黒っぽい土が見つかり、この土が放射性物質に汚染されていたとみられるということです。

管理団体では土をスコップで取り除いて袋に詰め、たうえで、公園に来た人が近づかない場所で当面、保管することになっています。

市によりますと、除染などで出た汚染された土が人の手で持ち込まれた可能性があるということで、もしそうであるのなら、こうした行為はやめてほしいと話しています。

2014年7月4日(水)

公園内に空間放射線量の基準を超える土 除染作業を実施／東松山

東松山市は4日、同市松山の市立岩鼻運動公園内で、国が決めた1時間当たりの空間放射線量の基準値（地上1メートルで0.23マイクロシーベルト）を超える土壌が見つかった、と発表した。市はガイドラインに基づいて除染作業を実施しており、除染作業完了後は同公園敷地内に袋詰めの汚染土を埋めて放射線を遮蔽（しゃへい）する。

市によると、基準値を超える土壌が見つかったのは同公園内の陸上競技場南側に隣接する雑木林の一角。約2.5平方メートルの敷地内の2カ所で、地上1メートルでは0.7マイクロシーベルトと0.265マイクロシーベルト、地上5センチでは1.515マイクロシーベルトと0.356マイクロシーベルトの放射線量を測定した。

3日午後3時10分ごろ、同市の女性から「公園内に放射線量の高い場所がある」と同公園を管理する公益社団法人「東松山文化まちづくり公社」に通報があった。同公社職員が測定したところ、2カ所で基準値を超える放射線量を確認した。市は別の場所から持ち込まれた可能性もあるとみて調べている。

埼玉新聞電子版 平成 26 年 7 月 4 日

東松山の運動公園でセシウム汚染土見つかる

2014年7月5日 09時29分

印刷 | メール

埼玉県 東松山市 は4日、市岩鼻運動公園内の 雑木林 で、最大で毎時1・515マイクロシーベルトの放射線を発する土が見つかったと発表した。市が業者に依頼して調べたところ、放射性セシウム 134と137が検出された。市は土を袋詰めし、公園内に仮埋めした。今後、成分を詳しく調べることにしている。

土が見つかったのは、遊歩道から2~4メートル入った 雑木林 のなかの2カ所。約2平方メートルの地表で最大1・515マイクロシーベルトが測定され、約2メートル離れた約1平方メートルでも0・356マイクロシーベルトあった。市によると、セシウムの成分から 東京電力 福島第一 原発事故 に由来する可能性が高いという。周囲の茶色と異なる砂混じりの黒い土で、よそから持ち込まれたとみられる。

原発事故 の被災地では0・23マイクロシーベルト(年間1ミリシーベルト)以上が国費で除染する目安。国は、年間20ミリシーベルト未満を住民帰還が見込める 避難指示解除準備区域 に指定している。土を入れたポリ袋は防水シートでくるんで、1メートルの穴に埋めたという。今後の処置は、県や国と相談することになっている。

朝日新聞 DIGITAL 平成 26 年 7 月 5 日

【ホットスポットファインダーで何がわかるの?】

東松山市 五領町近隣公園

東松山公園

場所:五領町近隣公園(埼玉県東松山市五領町8番)

日時:2014年7月3日(木) 午前10時20分~12時

天気:くもり時々晴れ 東の風 1m

方法:移動測定=地上50cm高、定点測定(60秒間の平均)=50cm高、5cm高

機器:ホットスポットファインダー(ポニー工業)CsI(Tl)+半導体型光検出器MPPC



《移動測定平均線量 0.057μSv/h》

東松山子供未来のお二人と赤ちゃんとの測定です。

中学生のお子さんがこの公園で野球やバスケットをするということで、

公園西側をYさん、公園東側をかわいらしい赤ちゃんをおんぶしたUさんに

測定してもらいました。

移動測定の間線量平均(地上50cm高)

	平均値	平均値最大	平均値最小
公園東側	0.057	0.080	0.037
公園西側(グラウンド)	0.056	0.074	0.037
公園内舗装部分	0.061	0.073	0.046
公園内未舗装部分	0.054	0.080	0.037
全体	0.057	0.080	0.037

全体の値は街中公園の平均的な線量となりました。

左表は公園を東と西に分けての平均値、舗装と未舗装部分に分けての平均値です。

福島では舗装道のほうが低いようですが、福島事故から3年以上たった埼玉北部においてはどこを測っても舗装道のほうが土より高い値をしめします。

えっ、えっ、!!! 赤ちゃんのいるUさんは、セシウムの染み込んだ土より舗装道のほうが放射線値が低いと考え、舗装道を選択して歩いていたそうです。

①グラウンド バスケットゴール



地面の状態：砂混じりの土



上 50cm 高 下 地表付近

西側を測定してくれたYさんです。子供達がよく使う場所ということで、念入りに測ってます。ここには、白い砂混じりの土がしかれています。グラウンドの他より高い値なのは、その砂が影響しているかもしれません。

②グラウンド 野球ホームベース



地面の状態：グラウンドの土

上 50cm 高 下 地表付近

③円形くぼ地スペース



地面の状態：コンクリート草地

上 50cm 高 下 地表付近

公園中央で円形に囲まれたくぼ地です。なにをするためのスペースか？です。公園内では一番低くなっており、排水口も近くにあります。水が集まってくる場所になっています。

④ ブランコ



地面の状態: 土

上 50cm 高 下 地表付近

⑤ 芝生広場中央



地面の状態: 芝

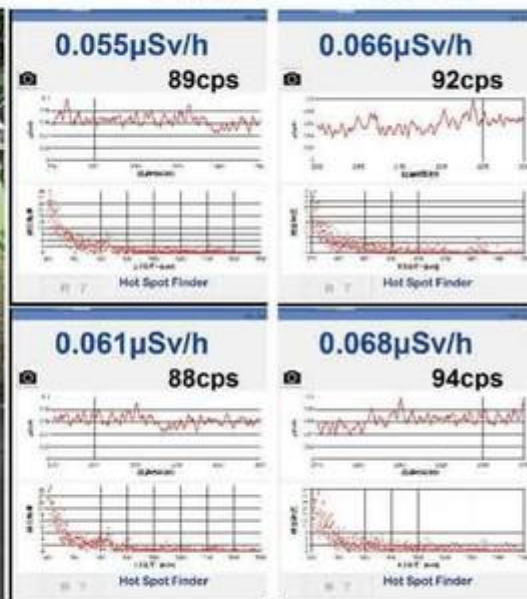
上 50cm 高 下 地表付近

⑥遊歩道とその道ばた



A 土草枯葉

B 舗装道



上 50cm 高 下 地表付近

土と舗装の比較です。その差 $0.01 \mu\text{Sv/h}$ です。